

## 平成 30 年度 第 4 回瑞浪市男女共同参画審議会 議事概要

日 時：平成 31 年 2 月 13 日（水）午後 3 時～

場 所：市役所 4 階 全員協議会室

出席者：〈会長〉渋谷典子 〈副会長〉浅沼克郎 〈委員〉工藤美佐子、伊佐治康利、  
松原志津子、足立美樹、伊藤正隆、本荘恵子、兼松仁美、西尾栄子、  
村瀬恵美子、中山征治、酒井秋子

欠席者：田中知己、酒井正信

### 1 挨拶

〈まちづくり推進部長〉

本日の会議では、パブリックコメントも終了し、プランの最終確認を行う。  
委員の皆様から忌憚のないご意見をいただき、後期プランの確定につなげたい。

〈渋谷会長〉

先ほど、この会議の前に男女共同参画社会推進会議に出席し、3月に行う講演会  
について話し合いをしました。このような講演会が市内の人と人をつなぐきっか  
けになると、児童虐待など悲しい事件が起こらない地域づくりに繋がると思うので、  
みなさんぜひご参加をお願いします。

### 2 議事：以下、事務局より説明

#### 1) 審議会からの意見の取り扱いについて

〈委員〉冊子の印刷予定はいつ頃か。

〈事務局〉この会議が終わり次第、すぐに取り掛かる予定。

〈委員〉4月から新年号になるが、年の表記はこのままでよいのか。

〈事務局〉現在、市の第6次総合計画も印刷に入っており、年度表記については  
和暦（西暦）表記として庁内統一するよう指示が出ているため、このままとする。

〈会長〉16ページの図表12を見るとDVの件数が少ない。少ないことは良いこと  
だが、潜在的にある可能性もある。その誤解をどう解いたらよいか。これを見た  
時にDVの事は問題ではないととられるのではないか。

〈委員〉全国と瑞浪の比較のデータはないか。

〈事務局〉全国データとの比較はないが、図表11で県のデータは示してある。

〈会長〉相談は自分の住んでいる地域に行くとは限らないので、市の相談件数だけ  
では分かりにくいのと、図表10の問いが「殴る、蹴る、突き飛ばす」に限定して  
いるが、今はあまりそういったものよりも、経済的な封鎖や子供への虐待を通し  
た精神的なDVが多いと思う。このデータをみて、安全、安心で何もしなくていい  
と思われるのではないかと心配。デートDVのリーフレットには身体的暴力のほか  
に精神的暴力・経済的暴力・性的暴力とあるが、設問は身体的暴力のみか。

〈事務局〉設問はこれ以外のDVに関するものもあるが、前期プランでこの設問を載  
せているため、比較対象として同じ設問を選んだ。

〈会長〉もし加筆出来るのであれば、精神的暴力は何%、経済的暴力は何%と載せ

てはどうかと思うが、数字としてはどの程度か。

〈事務局〉他の設問を見ても数字的にはあまり違いは見られない。

〈会長〉読み手が誤解しなければ良いと思う。

〈委員〉数が少なすぎて錯覚してしまう気がする。

〈委員〉DVは身体的暴力だけではないので、説明を改めて載せてはどうか。

〈委員〉15ページの3行目にDVの種類は明記されている。そのうち図表10は身体的暴力をピックアップしたとういことでよいのではないか。

〈会長〉内閣府の調査ではDV被害の割合は4人に1人とされている。それを書くことによって瑞浪市は少ないと見るか、実際にDVはあるが数字に表れていないだけと見るか、どちらに取られるか心配。みなさんがこのままの表記でよければ、変えずに進めていいと思うが、こういった議論があったことは思い出してもらいたい。

## 2) パブリックコメント募集の結果について

意見・質問特になし。

## 3) 今後の流れについて

〈会長〉冊子を元に概要版は作成されるか。

〈事務局〉その予定で進めるが、広報みずなみの見開き2ページとする可能性も有る。

## 4) 意見交流

〈委員〉配布されたデートDVのリーフレットを見て分かりやすいと思った。言葉として見ると分かることがある。冊子も言葉が分かりやすく良いと思う。

〈委員〉男性がDVを受けているということを知らなかった。DVが社会問題になっていて、人権擁護委員の立場としてもそのような問題が出てくる。昨今の児童虐待についても、法務局から学校を通して子供たちへ「SOS ミニレター」を配布して相談を受けているが、相談内容を秘密にするはずが、親に伝わり事件になった。相談に携わる一員として今後どうしていくべきか課題だと思う。

〈委員〉会議に4回参加したが、毎回難しかった。市の今後の方針が形になって、これを市民にどう理解してもらうか、市役所だけの問題ではなく、自分たちに身近な問題ということのを、概要版や広報でより分かりやすく伝えてほしい。

〈委員〉小学6年生の娘が性同一性障害のアイドルを好きだが、大人のような偏見をもっていない。デートDVに関して、昔は男の子がDVをする印象が自分たちの世代にはあるが、今は男も女も関係ない。今の小学生が大人になったときには「男女共同参画」という言葉が無くなるくらい平等になっているといいなと思う。

〈委員〉良いものが出来上がったので、PRをしっかりしていただきたいと思う。

〈委員〉これからの課題として、PRをしっかりしていくことも大きな課題だが、会長が指摘されたようにDVの部分がデータとして非常に薄っぺらなものになってしまっている。この部分は今後重要になってくる問題で、DVやハラスメントは、やっている本人は自分がやっているという自覚がない。理屈は分かっている「自分はやっていない。」と思っている。やられている方も気がつかないというケースもあ

るので、どちらも意識の改善が必要で、そこにひとつ課題がある。もうひとつの課題として、せっかく相談窓口があるのに知られていない、窓口に行ったが結局何もしてもらえないでは意味がない。窓口をもっとPRして、どこまでやってもらえるのか、中身の充実が重要になってくると思う。

〈委員〉とても難しい会議で、自分が持っている知識では対応しきれず、気持ちが萎えてしまうこともあったが、ようやく分かってきたような気がする。主任児童委員という立場でこの会議に参加したが、市の中に助けてもらえる機関がたくさんあるということ、自分の仕事を通じて伝えていくことが重要だとわかり、良い勉強になった。

〈委員〉正直、今も男女共同参画についてはよく分からない。年齢の高い人と若い人たちの考え方もかなり違う中で、これをまとめるのにかなり難しさを感じて、どこを捉えていったらいいのか分からない状態。今、国会でも児童相談所の相談員を1,000人増やすなどと言っていることに違和感を覚えている。相談員を増やす前に、その手前で、そういう子供たちがいないような社会をつくるのが大切だと思う。男女共同参画でも、女性が働きに出ることに関して、子供が置き去りにされてはいけぬ。並行して考えていかななくてはいけないことがあるが、年代によっても考え方が違い、男性の中には「女性が優遇されている」という声もあり、自分自身把握仕切れない状況で終わってしまったと思う。

〈委員〉当初、分厚い冊子をもって家で読むのが大変だったが、会議に参加して改めて、すごいものが作られていたんだなと感じた。色々な職種の方とお話して、色々な考え方があると勉強になった。今は虐待の問題で通報されることもあるので、先日、自分の嫁が子供の叱り方が難しいと言っていた。でもダメなことはダメだと叱ることは必要だと思う。DVの相談件数が低いのは、実態とかけ離れている気がする。相談が少ないということは、社会福祉課が頑張っているのかもしれないが、相談へ行くのにハードルが高いということもあるのではないかと。オープンに相談できて、人権が尊重されて住みやすい瑞浪になるように応援していきたいと思う。

〈委員〉職場によって男女平等の意識が大分違うと感じた。市民アンケートを見ても「男性が優遇されている」という回答が多いが、これからだんだん平等に近づいていくのかなと思う。大変難しい問題で時間を要すると思うが、少しずつ改善されていくのではないかと。先ほど話題になったDVについては、「したことがある男性」と「されたことがある女性」の回答に大きな違いがあり、こういったアンケートではなかなか実態は掴めないだろうと思う。このような冊子で啓発を進めていくことは必要だと感じたが、市民で読んでくれる人はなかなかいないと思うので、少しずつ教えていかななくてはいけないと思う。

〈委員〉私は戦前生まれで、大家族で子供のころは「父親の言うことを聞かなくてはいけない」と育ち、結婚したら「男性が言うことを聞くように」という環境で生きてきたので、今回、このプランをみて意見を求められても何を言えばいいのか分からなかったが勉強になった。自分の甥や姪たちをみていると、男性でも炊事や子どものオムツをかえたりしていて驚いたが、これからの時代はこのように協力していかななくてはいけないのだなと思った。

〈委員〉皆さんの意見が結集していいものが出来たと思うが、何度見てもこのプラン

は頭に入らず、特に統計の見方は難しいと感じる。数字の裏にある人の生活や気持ちは分からない。その見えない部分を、プランを基に落とし込み、継続的に行動してもらえるようにしなくてはいけないと思う。そのきっかけとして、男女共同参画講演会にもぜひ出席していただきたいと思う。今後も、継続的で分かりやすく具体的な努力、みなさんの力が必要だと思う。

〈会長〉ありがとうございました。こちらが形になりスタートラインに立ったところなので、これからどのようにこの計画を実行していくかという段階に入るので、みなさんのご協力をお願いします。先ほど委員さんのお話にもありましたが、自分も大家族で育ち、親も戦前生まれなので、先輩の女性たちが生き方を改めて思い出しながら、感慨深く思いました。貴重な感想をありがとうございました。歴史の変化と共に私たちはどう生きていくのか、瑞浪市がどういった社会をつくるのかを問われている時代だと思う。この様に世代を超えて集まったことも重要な機会になったと思います。

## 5) その他

〈事務局〉

事務連絡：3月10日男女共同参画講演会の案内及び審議会の報酬について  
審議会報酬振込みについて

閉会のあいさつ

以上